

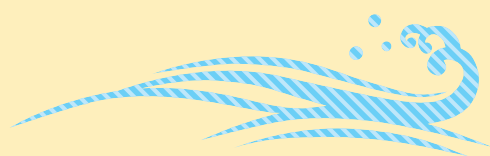
私たちのま くらしと水

watashitachino kurashi to mizu

上下水道局からのお知らせや最新情報公開中♪

宇都宮市上下水道局

検索



プレゼントクイズ

一生のうち人がトイレで
過ごすといわれる
時間はどのくらい? 年間



正解者の中から抽選で
30名様に
上下水道局オリジナル
着せ替えスタンプラー&
下水道50周年記念
マンホールデザインの大谷石コースターを
セットでプレゼント!

>> 応募方法は4Pへ

化粧室 Lavatory

楽しく学ぼう♪
みんなが気になる
トイレの話



女子化粧室
Lavatory



多目的トイレ
多目的トイレ



男子化粧室
Lavatory



多目的トイレ
多目的トイレ

表紙の撮影場所は?



今回の表紙の撮影をさせていただいたのは、ろまんちっく村のトイレ。地元の名産である大谷石を用いたデザインと入り口の大きな木が印象的。ユニバーサルデザインに基づいたわかりやすい男女のトイレサインが目印です。

上下水道局
マスコットキャラクター
「水道ぼうや」

／ 楽しく学ぼう♪ ／



みんなが気になる トイレの話



一生のうち私たちがトイレで過ごす時間は3年間。
生活に無くてはならない「トイレ」について楽しく
学んでいきましょう!

3年間も
!?

かなり長い
時間だよな。



1

トイレの時間が楽しくなる!! 个性的でユニークなトイレをご紹介します♪

利用するのが思わず楽しくなる面白いトイレが、全国各地にあるのを知っていますか?
今回はそんな楽しいトイレの一例をご紹介します。皆さんも探してみてくださいね。



静岡県袋井市

▲お寺のありがた〜いトイレの神様!?

静岡県にある「秋葉総本殿 可睡斎(あきはそうほんでん かすいさい)」の
トイレには、心の浄化や日常生活のあらゆる不浄を浄(きよ)めるといわれる
日本一大きな烏菟沙摩(うすさま)明王像が鎮座しています。



千葉県市原市

▲開放的!? ガラス張りトイレ

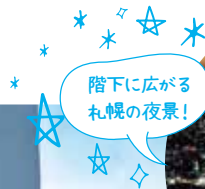
小湊鉄道 飯給(いたぶ)駅にある公衆トイレ。
広さが約200㎡あり、自然の中でリラックスできます。
勇気を出してぜひ一度お試しください。



北海道札幌市

▲地上160m眺望タワーの見晴らし抜群のトイレ

JR札幌駅の駅ビル38階にあるトイレ。眼下に札幌の街を一望
でき、昼間の眺望と夜景をそれぞれに楽しめます。



階下に広がる
札幌の夜景!

地元栃木にもあります! 近くに行ったらぜひ寄ってみて♪



▲栃木県産大谷石で出来た モダンなデザイントイレ

JR宇都宮駅西口宮の橋にある公衆
トイレ。トイレとは思えないお洒落な
外観です。



▲まるで釜戸のような手洗台

那須塩原市のスープ入り
焼きそば屋「釜彦」さんの
ユニークなトイレ手洗台。
シンクのお釜は本物。



▲益子焼で壁面を埋めつくす 芸術的トイレ

益子町 益子焼窯元共販センター
のトイレ。陶器の街にふさわしい
アートなビジュアル。



▲物語が迎えてくれる おもてなしのトイレ

鹿沼市のまちの駅にある自然光
あふれるトイレ。スタッフ考案の物語
が利用者を楽しませます。

2



中世ヨーロッパや江戸時代 トイレはどうしてたの？

世界の
歴史

華やかなイメージとギャップ？ ヴェルサイユ宮殿のトイレ事情

ルイ14世の時代、一般家庭は「おまる」で用を足し、排せつ物が溜まると窓から捨てるのが当たり前でした。

ヴェルサイユ宮殿も例外ではなく、ルイ14世や宮殿に出入りする貴族などは椅子式便器などを使っていましたが、トイレとして独立した部屋はありませんでした。従者が中身を庭や回廊に捨てるため、当時の宮殿は相当な悪臭が立ちこめていたといわれています。



▲陶器製ポットの形状をした中世のおまる。

▲道に落ちている排せつ物をハイヒールで避け、香水で悪臭をごまかしていました。当時の文化は環境と密接な結びつきが。

▲立ったまま用を足しやすい形の当時のスカート。

国内の
歴史

日本のトイレの起源は川！ 江戸のトイレはビジネスだった!?

日本のトイレの起源は縄文時代、川にそのまま用を足していました。その後、建物内に川を引き込む「川屋」(厠(かわや))の語源に。

平安時代、貴族は「樋箱(ひばこ)」と呼ばれる「おまる」を使っていましたが、一般庶民には普及しなかったようです。

鎌倉～江戸時代には、排せつ物を農業用肥料として活用するシステムがあったおかげで、人口100万を超える大都市ながら、江戸の街は極めて清潔に保たれたそうです。

明治以降に欧米から洋式便器が伝わり、昭和に下水道が整備され、水洗トイレが広く普及しました。

現在、トイレは温水洗浄、抗菌、自動脱臭、節水化など、技術の進化を遂げており、日本のトイレ文化は海外でも高い評価を得ています。

こうした長い歴史を経て、トイレはここまで進化したのですね。

※参考 一般社団法人日本レストルーム工業会 トイレの歴史
名古屋市上下水道局 水のライブラリー

【日本のトイレ変遷年表】

縄文時代



▲縄文時代はそのまま川に。

平安時代



▲平安貴族の「樋箱(ひばこ)」。

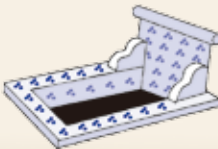
鎌倉時代



◀排せつ物は肥料として流通。業者が各地へ運搬。

江戸時代

明治時代



▲明治時代に木製から陶器製に。和式便器の原型。

現代



▲現在、世界的に進化した日本のトイレ技術。

3



トイレを支える 下水道の役割

私たちの日常生活に密接しているトイレから出る水がどうなっていくか知っていますか？

私たちが使って汚れた水は、水再生センターへ運ばれていきます。そこで微生物などを使って、きれいな水にしてから川に流しています。

下水道は病気の発生や悪臭を防ぎ、快適な住環境を守るために重要な役割を担っています。



川田水再生センター